

昨日、1月17日までの経緯を整理しましたが、昨日及び本日午前の経緯について下記のとおり補充します。東北大学当局が、世間一般の常識からみてあり得ないような不誠実対応を重ねています。当組合は、引き続き、総長対応の早期実現を求めます。

2020年1月21日 東北大学職員組合

雇い止め方針の見直しを求める署名を総長が直接受け取り、 総長と組合役員とで意見交換をすることに関するこの間の労使の経緯

「[2] 大学が自ら約束した交渉での実現を守らない姿勢」の続き

2020年1月20日 17:04:05JST 組合→大学

署名は、以前提出したものもありますが、大野総長のもとで累計で1万筆を超えています。その意義を総長に直接伝えることが本交渉の最大の主旨であり、総長出席が確約できない状況では、1月22日は見送らざるを得ません。署名を総長に直接渡して、総長と直接意見交換する本交渉において、総長の出席は必須です。総長が出席せずに本交渉を行う、というのは、大学の誠実回答としてあり得ません。1月17日回答が総長の出席を拒否したのものならば、本交渉については団交拒否であり、労使交渉の経緯にも反した不誠実交渉です。今回の日程について総長が出席しない、と言っているだけだとしても、その事情もまったく説明せず、総長が出席できる別途の日程案も示さないのは不誠実です。交渉申入書記載のとおり、総長が出席できる別途の日程をいくつか提案するよう求めます。大学は、組合提案の日程案に対して、どの日についても「総長の都合が悪い」とは言わずに、すべて踏みにじています。まったく教育機関の風上にもおけない姿勢です。下記リンク先に12月18日以降のやり取りを時系列に整理しました。誰が見てもあまりに不当な対応だと思います。謝罪して態度を改めるよう求めます。

<http://tohokudai-kumiai.org/docs20/besshi200120.pdf>

2020年1月21日 12:20:08JST 組合→大学

昨日17時頃の連絡内容について、真摯な対応をするよう引き続き求めます。さて、先程お電話して下記の内容でのやりとりをしました。追加の宿題が2点となります。宜しくお願いします。

----- (先程の電話の内容) -----

本日も、「交渉について誰が対応するかはその都度判断している」旨が繰り返し説明され、組合もその文言は理解していることを伝えました。その上で、総長は、本交渉の事項が「総長でなければいけない」内容となっていることを承知の上で、「組合提案の全日程について御自身の都合をまったく検討せずに御自身は出席しないという判断をしたのか」を問い、それについては、「そうである」とのことでした。また、総長の都合がつかない場合には別途の日程を提案するよう、組合は当初から求めており、「その都度判断」だからといって、別途の日程も提案しないということにはならないところ、「別途の日程も提案しないという判断を総長御自身がしたのか」を問い、それについても、「そうである」とのことでした。「総長がそのような判断をした理由を問うたところ、それは聞いていないので知らない」とのことだったので、総長の理由を確認して文面で返すよう求めました。宜しくお願いします。

「こういった対応を団交拒否というのだ」と念のために指摘しました。それに対して驚いたことに「そこは互いの解釈が違うところだ」との見解が示されました。当該解釈について総長に確認の上で詳細に説明するよう求めます。